令和3年度指定管理者制度導入施設モニタリング結果

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

【総合政策部】

施設名	熊谷市立市民体育館、東部体育館、別府体育館、大里体育館、大里総合グラウンド、江南体育館、江南総合グラウンド、籠原体育館									
指定管理者名	公益財団法人　熊谷市スポーツ協会									
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日									
指定管理料（円）	R2	65,000,000	R3	65,000,000	R4	66,000,000	R5	67,000,000	R6	67,000,000
所管課	スポーツ観光課									
総合評価	B									
全施設の利用者数（人）	R1	275,771	R2	137,059	R3	194,678				
全体育館の稼働率	R1	73.6%	R2	52.1%	R3	70.4%				
全グラウンドの稼働率	R1	34.3%	R2	25.9%	R3	30.9%				
総合コメント	コロナウイルス感染症への対策として3密の回避、換気、利用人数の制限など、基本的な感染予防対策を行いつつ、施設利用者の声に耳を傾け、安全安心な施設管理のあり方を工夫し、スポーツ愛好者の要望に応えている。施設利用人員は、人数制限等を実施した結果、総利用者が194，678人と昨年の137，059人から増加しているものの、平成30年度には30万人以上であり、コロナ発生前のレベルには戻っていない。指定管理者による自己評価では、総合評価点が100点満点中87．3点で前年比0．6ポイント上昇しており、感染予防対策を重視した運営に留意しつつ、利用者に対する丁寧な説明を行い施設利用の不便さについても理解を得ている。引き続き、職員の資質向上を図りながら、安全安心を最優先に業務を継続し、公益財団法人として地域スポーツの振興の役割を担っていく姿勢が確認された。									

【市民部】

施設名	熊谷市市民活動支援センター									
指定管理者名	特定非営利活動法人NPOくまがや									
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	H29	10,955,700	H30	10,854,700	R1	11,196,700	R2	11,531,700	R3	11,757,700
所管課	市民活動推進課									
総合評価	B									
利用者の数の推移（人）	R1	13,431	R2	7,215	R3	10,221				
登録団体の数の推移（団体）	R1	262	R2	265	R3	278				
総合コメント	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開館時間の短縮及び利用の制限等あったものの、臨機応変に対応し、利用者とトラブルのない状況であった。 また、多くの事業が中止や延期となっている中、「市民活動」を止めないよう、オンラインでの活動や団体紹介動画を作成するなど団体の支援を行い、登録団体は前年度に比べ13団体の増となった。 施設内は、感染症予防対策を実施し、利用者が使用しやすいように保たれている。 管理運営についても、ローテーションにより業務に支障がないよう対応している。									

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

施設名	熊谷市立コミュニティセンター									
指定管理者名	熊谷市社会福祉協議会									
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	R2	12,556,000	R3	12,670,000	R4	12,823,000	R5	12,882,000	R6	12,969,000
所管課	市民活動推進課									
総合評価	B									
利用件数の推移（件）	R1	1,982	R2	846	R3	1,190				
利用者の数の推移（人）	R1	17,188	R2	5,717	R3	9,533				
総合コメント	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開館時間の短縮及び利用の制限等あったものの、臨機応変に対応し、利用者とトラブルのない状況であった。 老朽施設であるが、不具合・故障等がみられる箇所の修繕を行い、利用者が使用しやすいように保たれており、管理運営についても、ローテーションにより適正に対応している。 個人情報の取扱いにも配慮しており、適正な水準を維持しているものと判断できる。									

施設名	熊谷市立大里ふれあいセンター									
指定管理者名	公益社団法人熊谷市シルバー人材センター									
指定期間	令和2年4月1日～令和5年3月31日（3年間）									
指定管理料（円）	R2	7,426,000	R3	7,423,000	R4	7,551,000	R5	―	R6	―
所管課	市民活動推進課									
総合評価	B									
利用件数の推移（件）	R1	399	R2	172	R3	279				
利用者の数の推移（人）	R1	3,170	R2	1,420	R3	2,318				
総合コメント	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開館時間の短縮及び利用の制限等あったものの、臨機応変に対応し、利用者とトラブルのない状況であった。 また、感染症対策として自動検温器とディスペンサーを導入した。 管理運営についても、ローテーションにより適正に対応している。 個人情報の取扱いにも配慮しており、適正な水準を維持しているものと判断できる。									

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

施設名	葬斎施設									
指定管理者名	五輪・宮本・東京ワックスグループ									
指定期間	令和3年4月1日から令和6年3月31日まで									
指定管理料（円）	R3	100,000,000	R4	100,000,000	R5	100,000,000				
所管課	市民部市民課									
総合評価	A									
火葬件数（件）	R1	2,284	R2	2,368	R3	2,518				
式場利用状況（件）	R1	507	R2	390	R3	429				
総合コメント	指定管理制度の初年度であったが、引継ぎの準備期間を十分に確保していたため、スムーズに事務を移行することができた。今年度は、通常の運営だけでなく、新型コロナウイルス感染症による特別な火葬業務も行わなければならない難しい運営を強いられたが、そのような状況の中でも、時間外に特別枠を設置するなどし、柔軟に対応することができた。 また、酒類の販売、持込み、付添い、集会室の利用についても、感染状況に応じて適切な対応をとることができた。 利用者からの満足度も高く、苦情などの声はなかった。参列者から、「コロナ禍の火葬であったが丁寧によくやってくれた。」などのお礼の声が寄せられるなどおおむね好評であった。									

施設名	熊谷市立健康スポーツセンター									
指定管理者名	株式会社ジェイレック									
指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日									
指定管理料（円）	R3	44,200,000	R4	44,200,000	R5	44,200,000	R6	44,200,000	R7	44,200,000
所管課	健康づくり課									
総合評価	B									
施設利用者数	R1	85,381	R2	22,806	R3	49,997				
施設利用収入	R1	28,116,420	R2	7,031,900	R3	16,149,930				
総合コメント	令和3年度から指定管理者が変更となったが、特に大きな問題もなく、円滑に引継ぎが行われた。 利用者と収入は昨年度を上回っているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により低迷しており、未だ厳しい状況である。 施設内の改装やレイアウト変更により利用者が快適に過ごせる環境を整えたことや、利用者からの様々な要望に柔軟に対応している点などが評価できる。									

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

【福祉部】

施設名	老人福祉センター（別府荘・上之荘・ひかわ荘・江南荘）									
指定管理者名	社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会									
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	H30	95,568,000	R1	95,986,000	R2	96,236,000	R3	96,482,000	R4	96,728,000
所管課	長寿いきがい課									
総合評価	B									
利用者数の推移（人）【4施設合計】	R1	106,022	R2	21,154	R3	36,219				
1日平均利用者数（人）【4施設合計】	R1	398	R2	34	R3	31				
総合コメント	年間を通じ、おおむね適切に管理運営されていた。 昨年度比で利用者数は15，065人の大幅増となった。 各施設共に老朽化が進んでいるが、別府荘給水主管布設替工事、上之荘トイレ便器交換修繕、ひかわ荘浴槽排水栓取替及び非常用照明交換修繕、江南荘大広間排煙オペレータ装置修繕などを実施し、施設・設備の整備、維持管理に努めた。 別府荘で高齢者の交通安全の啓発に関する講座が開催され、高齢者の生活に資する自主的な取組がなされた。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入館人数及び入浴人数を制限するとともに、「老人福祉センター（別府荘・上之荘・ひかわ荘・江南荘）利用開始時の感染防止対策」を施設職員及び利用者で遵守するよう周知徹底を図った。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月7日～6月30日、令和2年12月26日～令和3年3月21日まで臨時休館とした。									

施設名	箱田高齢者・児童ふれあいセンター									
指定管理者名	社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会									
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	H30	20,769,000	R1	20,786,000	R2	20,801,000	R3	20,816,000	R4	20,828,000
所管課	長寿いきがい課									
総合評価	B									
利用者数の推移（人）	R1	15,313	R2	3,799	R3	6,601				
1日平均利用者数（人）	R1	57	R2	19	R3	22				
総合コメント	年間を通じ、おおむね適切に管理運営されていた。 昨年度比で利用者数は2，802人、利用団体数は61団体の大幅増となった。 非常用照明電池交換修繕、PAS制御装置交換修繕などを実施し、施設・設備の整備、維持管理に努めた。大規模改修工事に向け、不要な物品の整理にも着手している。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「箱田高齢者・児童ふれあいセンター　利用開始時の感染防止対策」を施設職員及び利用者で遵守するよう周知徹底を図った。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月7日～6月7日、令和2年12月25日～令和3年3月21日まで臨時休館とした。									

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

施設名	老人憩の家荒川荘									
指定管理者名	公益社団法人熊谷市シルバー人材センター									
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	H29	1,780,000	H30	1,801,000	R1	1,861,000	R2	1,880,000	R3	1,904,000
所管課	長寿いきがい課									
総合評価	B									
利用者数の推移（人）	R1	2,931	R2	572	R3	719				
1日平均利用者数（人）	R1	11	R2	2	R3	2				
総合コメント	年間を通じ、利用者からの苦情も特に無く、おおむね適切に管理運営されていた。 新型コロナウイルス感染症防止対策のための空気清浄機・加湿器及びサーマルカメラの追加設置、LED照明交換修繕、不要備品の廃棄などを実施し、施設・設備の整備、維持管理に努めた。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「老人憩の家（荒川荘・平戸荘・吉岡荘）利用開始時の感染防止対策」を策定し、施設職員及び利用者で遵守するよう周知徹底を図った。 また、会員・市民対象のフレイル予防活動に係る指導者研修会を実施し、コロナ後を見据えた活動の準備にも努めた。 市と協力しながら、指定管理者で自主的に管理運営を行っており、その姿勢及び実践が高く評価できる。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月1日～6月7日、令和2年12月26日～令和3年3月21日まで臨時休館とした。									

施設名	老人憩の家平戸荘									
指定管理者名	熊谷市平戸自治会									
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	H29	1,780,000	H30	1,780,000	R1	1,789,000	R2	1,807,000	R3	1,807,000
所管課	長寿いきがい課									
総合評価	B									
利用者数の推移（人）	R1	2,898	R2	1,114	R3	1,843				
1日平均利用者数（人）	R1	11	R2	6	R3	6				
総合コメント	年間を通じ、利用者からの苦情も特に無く、おおむね適切に管理運営されていた。 昨年度比で利用者数は729人の大幅増となった。 白寿の間エアコン更新工事、施設北側のフェンス塗装修繕などを実施し、施設・設備の整備、維持管理に努めた。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「老人憩の家（荒川荘・平戸荘・吉岡荘）利用開始時の感染防止対策」を策定し、施設職員及び利用者で遵守するよう周知徹底を図った。 例年どおり、定期的な除草剤の散布、植栽の剪定及び手入れ、障子張替などを行い、快適・清潔で利用しやすい施設内外の環境整備のために配慮している。 市と協力しながら、指定管理者で自主的に管理運営を行っており、その姿勢及び実践が高く評価できる。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月1日～6月7日、令和2年12月26日～令和3年3月21日まで臨時休館とした。									

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

施設名	老人憩の家吉岡荘									
指定管理者名	有限会社後藤衛生コンサルタント									
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	R3	1,780,000	R4	1,800,000	R5	1,820,000	R6	1,840,000	R7	1,860,000
所管課	長寿いきがい課									
総合評価	B									
利用者数の推移（人）	R1	3,885	R2	1,654	R3	4,196				
1日平均利用者数（人）	R1	16	R2	8	R3	15				
総合コメント	年間を通じ、利用者からの苦情も特に無く、おおむね適切に管理運営されていた。 昨年度比で利用者数は2，542人の大幅増となった。 水はけ向上のための砕石散布などを実施し、施設・設備の整備、維持管理に努めた。また、市がさくらの間エアコン更新工事を実施したが、日程調整や立ち会いなど、円滑な工事実施のため率先的に協力した。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「老人憩の家（荒川荘・平戸荘・吉岡荘）利用開始時の感染防止対策」を策定し、施設職員及び利用者で遵守するよう周知徹底を図った。 施設内は常に清潔に清掃されており、節電・省エネルギーにも努めている。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月1日～6月7日、令和2年12月26日～令和3年3月21日まで臨時休館とした。									

施設名	熊谷市立障害福祉会館									
指定管理者名	特定非営利活動法人　熊谷市身体障害者福祉会									
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	H30	6,730,791	R元	6,908,114	R2	6,791,416	R3	6,793,466	R4	6,925,873
所管課	障害福祉課									
総合評価	B									
利用者数の推移（人）	R1	20,774	R2	4,007	R3	4,975				
利用料金の推移（円）	R1	247,450	R2	159,870	R3	196,710				
総合コメント	貸館業務において、心身に障害のある方の利用が中心となること及びその他地域の活動の拠点としての役割を自覚し、年間を通して苦情もなく円滑に運営されている。年間利用者数は例年20，000人以上であったが4，975人と4分の1の利用者であった。昨年度よりは約900人近く回復した。 施設は、建築から43年が経過して老朽化しているが、定期的に点検等は行っており、また、適宜修繕も行っており、施設の維持を図りつつ、適正に管理が行われている。新型コロナウイルス感染症対策のため、非接触検温器や非接触のアルコール消毒器を導入し、感染症対策も十分に行っていた。定員を半分にし、会館での飲食の自粛のお願いなど、迅速に周知連絡を行っていた。 また、会館が本市指定の「福祉避難所」であることから、自主的な備蓄用品の確保や施設入口には一般及び障害のある方向けの防災グッズの展示を行うなど、利用者へ防災に対しての広い啓発を行っている。 その他指定管理者の経営基盤は安定しており、以上から総合的に適正な水準を維持しているものと認められる。									

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

【産業振興部】

施設名	熊谷市勤労青少年ホーム、熊谷市熊谷勤労者体育センター、熊谷市立勤労会館									
指定管理者名	日本環境マネジメント株式会社									
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	H30	25,555,000	R1	25,947,000	R2	26,434,000	R3	26,889,000	R4	27,013,000
所管課	商工業振興課									
総合評価	B									
利用者数の推移 ※3館の合計	R1	109,616	R2	41,493	R3	57,046				
利用料金の推移 ※3館の合計	R1	4,421,610	R2	3,115,830	R3	4,697,790				
総合コメント	平成30年度から令和4年度までの5年間の指定管理者である。 新型コロナウイルス感染症の影響は続いているが、適切な施設運営がなされ、利用料金は感染症流行前（参考：H30年度5,070,400円）に近づいてきている。 定員の制限等の利用者への説明や感染症対策等も適切に対応している。									

施設名	熊谷市立商工会館									
指定管理者名	熊谷商工会議所									
指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日									
指定管理料（円）	R03	2,240,000	R04	2,230,000	R05	2,230,000				
所管課	商工業振興課									
総合評価	B									
会館利用件数	R1	3,744	R2	2,998	R3	3,406				
使用料収入（円）	R1	5,469,175	R2	4,116,035	R3	4,785,805				
総合コメント	貸館業務について減免対象となる公的利用も多い中、利用件数を保ち、安定的な運営を行っている。 施設の老朽化が著しいが、定期的な保守点検や職員によって適宜点検が行われており、問題点を早急に発見しおよび解決するように努めている。 総合的に判断し、適切な水準を維持している。									

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

【都市整備部】

施設名	熊谷運動公園									
指定管理者名	シンコースポーツ・熊谷ハートフルグループ・ジョンソンコントロールズ共同事業体									
指定期間	平成29年4月1日～令和3年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	H29	192,022,000	H30	191,896,000	R1	192,770,000	R2	195,612,000	R3	195,400,000
所管課	公園緑地課									
総合評価	B									
利用者数（人）	R1	273,392	R2	118,421	R3	208,813				
上記の内室内プールの利用者数	R1	58,053	R2	22,585	R3	44,711				
総合コメント	指定管理期間（5年間）の5年目、指定管理者制度導入後通算13年目であり、これまでの経験を生かした適正な施設の管理運営が行われていた。 利用率では、有料施設全体の利用者数が90，392人の増（前年比176．3%）、利用料金収入が円の増（前年比168．1%）と共に増加した。いまだ新型コロナ感染症による利用者離れが見られるが、施設の利用制限があったなかで、ここまで利用者の回復ができたことは評価できる。 令和4年度より新しい指定管理期間となるが、これまでの管理運営で培ってきた経験をもとに、更なる利用者サービス向上に向けた施設運営に期待したい。									

施設名	江南総合公園（小原運動公園）									
指定管理者名	特定非営利活動法人　グリーンアップ熊谷									
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	R3	13,060,000	R4	13,060,000	R5	13,100,000	R6	13,240,000	R7	13,240,000
所管課	公園緑地課									
総合評価	B									
利用人数（人）	R1	24,313	R2	16,694	R3	22,118				
利用料収入（円）	R1	259,050	R2	247,110	R3	378,150				
総合コメント	指定管理者として3期目を迎え、令和3年度はその初年度にあたり、これまでの経験を生かした適切かつ円滑な施設運営が行えていた。 昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症感染対策を施した施設運営を求められたが、埼玉武蔵ヒートベアーズの利用増加もあり、野球場の利用者数は2，763人の増（前年度比144．4%）、利用料金収入は131，040人の増（前年度比153%）と利用者数、利用料金収入ともに増加した。 公園利用者の方々が気持ちよく公園を利用できるような巡回や声がけを積極的に行い、お褒めの言葉をいただくこともあったことは評価できる。 令和4年度は指定管理期間（5年間）の2年目にあたるが、更なる利用者サービス向上に向けた施設運営に期待したい。									

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

施設名	妻沼運動公園,利根川総合運動公園,妻沼東運動公園,妻沼西第１公園,妻沼西第２公園,妻沼西第１緑地,妻沼西第２緑地,妻沼西第３緑地,妻沼西第４緑地,妻沼西第５緑地,別府沼公園					
指定管理者名	日本環境マネジメント㈱					
指定期間	平成３１年４月１日～令和４年３月３１日（３年間）					
指定管理料（円）	R1	90,186,000	R2	91,048,000	R3	91,648,000
所管課	公園緑地課					
総合評価	B					
利用人数（人）	R1	81,120	R2	56,591	R3	80,050
利用料収入（円）	R1	6,388,080	R2	4,492,380	R3	6,726,805
総合コメント	指定管理2期目3年目（最終年）であった本年度は、新型コロナウイルス感染症対策として実施した施設利用休止が多かった令和2年度よりも、施設の利用機会が増えたことにより、利用者数が昨対29，220人増、利用料金は昨対2，234，425円増となり、昨年度の数字を上回ることができた。 施設・設備の維持管理は、利用者の声も反映しながら適切に行われた。施設の老朽化が進み修繕費用の負担が以前よりも生じ、また要望等も多く寄せられることがあったがおおむね利用者には安全に公園を利用していただくことができた。 自主事業については、広報活動にも注力し、参加者数を着実に伸ばしている。パドルテニスなどニュースポーツの教室の導入など自主事業へのサービス向上に努めている様子が見られる。来年度以降も市民の健康増進に寄与する事業の実施を期待したい。 次期の5年間については、あらゆる面で今期を上回れるよう、魅力あふれる公園づくりに取り組んでいただきたい。					

施設名	中央公園、熊谷荒川緑地、村岡荒川緑地、久下荒川緑地									
指定管理者名	グリーントライアングル熊谷									
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年間)									
指定管理料（円）	R2	31,098,000	R3	31,578,000	R4	31,898,000	R5	32,388,000	R6	32,838,000
所管課	公園緑地課									
総合評価	B									
緑化センター利用人数（人）	R1	19,684	R2	5,830	R3	11,010				
荒川緑地利用人数（人）	R1	125,214	R2	90,480	R3	150,664				
総合コメント	指定管理2期目2年目であった本年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、施設の利用人数や利用時間で制限が伴ったものの、大きな事故やトラブル等なく、円滑な運営が行われていた。 利用者数は、前年度比で中央公園内の緑化センターが5180人の増加、荒川緑地が60184人の増加であった。利用者数が前年度より大幅に伸びており、新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部で施設の利用制限があったものの利用者数は回復傾向にあるといえる。 今後も、利用者が快適で安全に利用できるよう利用者ニーズを把握し、施設全体の利用者の増加に向けて、魅力ある公園づくりへ積極的に取り組むことを期待したい。									

◎　総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

【妻沼行政センター】

施設名	妻沼勤労福祉会館										
指定管理者名	くまがや市商工会										
指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日										
指定管理料（円）	2年	1,950,000	3年	1,950,000	4年	1,950,000	5年	1,950,000	6年	1,950,000	
所管課	妻沼行政センター										
総合評価	B										
指標1（各課で設定）	R1	388	R2	133	R3	235					
指標2（各課で設定）	R1	12,821	R2	1,940	R3	2,871					
総合コメント	指定管理者は当該施設内に事務所を構えており職員の日常清掃等による衛生管理、日常点検による安全管理や効率的な運営を行って利用者の利用性向上に努めている。 また、利用者数を増加させるため商店街の振興や観光振興に関わる研修会、勤労者を対象とする研修等の商工会自主事業も開催している。 指定管理者が適切な体制で運営し対応しているため、利用者からの苦情等についてはない。										

【教育委員会】

施設名	熊谷文化創造館、熊谷市立大里生涯学習センター、熊谷市立江南総合文化会館										
指定管理者名	公益財団法人熊谷市文化振興財団										
指定期間	令和2年4月1日　～　令和7年3月31日										
指定管理料（円）	R2	222,520,000	R3	223,830,000	R4	226,400,000	R5	228,880,000	R6	231,370,000	
所管課	社会教育課										
総合評価	B										
3館自主事業入場者数	R1	12,063	R2	2,603	R3	7,406					
ホール稼働率（%） 熊谷文化創造館・太陽	R1	49.0	R2	20.7	R3	45.8					
ホール稼働率（%） 熊谷文化創造館・月	R1	54.0	R2	43.8	R3	67.7					
ホール稼働率（%） 大里生涯学習センター	R1	22.0	R2	19.7	R3	14.0					
ホール稼働率（%） 江南総合文化会館	R1	14.4	R2	4.4	R3	10.1					
総合コメント	令和3年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言、まん延防止措置等の影響で、入場者数の制限を行った期間もあり、中止となった公演もあったが、感染防止対策の徹底を図りながら適切に貸館業務及び自主事業を実施し、自主事業は、令和2年度は9公演だったが、3年度は20公演を実施することができ、3館施設とも適切な管理運営がなされていた。 また、市と連携を図りながら施設利用ガイドラインの見直しを適宜行うとともに、施設利用者に対しては、親切丁寧な利用説明・案内を行い、利用者サービスの向上に努め、施設・設備のメンテナンスや清掃等も適切に実施していた。										

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

施設名	熊谷市スポーツ･文化村									
指定管理者名	アイル・オーエンスグループ									
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日									
指定管理料（円）	R2	87,400,000	R3	87,400,000	R4	87,400,000	R5	87,400,000	R6	87,400,000
所管課	社会教育課									
総合評価	A									
施設利用者数（人）	R1	224,123	R2	143,988	R3	230,899				
自主事業参加者数（人）	R1	6,913	R2	377	R3	2,603				
総合コメント	年度を通して適正かつ効率的に管理運営がなされた。また、公平公正な施設利用の促進に尽力した。 昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を実施・周知をし、安心して利用できる環境の提供に努めた。結果、利用者数が感染症拡大前の水準に戻っている。また、感染症長期化による防止対策に対する気の緩みの解消を利用者とのコミュニケーションにより努めた。さらに、新型コロナウイルスワクチン接種会場として、接種開始前から駐車場の制限等の周知を積極的に行い、接種会場運営に協力した。また、一部施設が長期に利用できないことを利用者に丁寧に説明し、理解を得るよう努めた。 施設管理において、施設・設備の不具合に迅速に対応し、早期復旧の対策を講じ利用者が安全に利用できるよう努めた。また、清掃状況は良好で、施設内の巡回を頻繁に行うなど、快適に利用できるよう努めた。 利用者からの意見を真摯に受け止め、改善・解決に取り組んだ。また、利用者と良好な関係を築くためにコミュニケーションに積極的な姿勢を示している。									

施設名	熊谷市立荻野吟子記念館									
指定管理者名	NPO法人めぬまガイドボランティア阿うんの会									
指定期間	平成３１年４月１日～令和４年３月３１日（３年間）									
指定管理料（円）	H31	3,800,000円	R2	3,650,000円	R3	3,750,000円				
所管課	妻沼中央公民館									
総合評価	B									
利用者数の推移（人）	R1	8,317人	R2	4,122人	R3	5,192人				
団体数	R1	83団体	R2	21団体	R3	22団体				
利用者数のうち団体人数	R1	2,225人	R2	549人	R3	582人				
開館日数	R1	305日	R2	250日	R3	308日				
１日当たりの来館者数	R1	27.27人	R2	16.49人	R3	16.86人				
総合コメント	・令和3年度は、指定管理3年目（初指定管理最終年）であり、ガイドは長年の実績があるのでスムースに進められていた。 また、新人研修会やガイド内容及び館の管理等の統一を図るため、定例打合せ会議を毎月、休館日に行っており、共通の認識が図られている。 ・団体の申込がある場合は、説明者の人数を増やして対応している。 ・定期的に吟子紙芝居班（女性会員）が読み合わせ会を行っている。熊谷市だけでなく、埼玉県内の公民館等へ出前授業に出かける等、意欲的に活動している。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながらも、多くの人に吟子について広める努力をしている。 （令和3年度は、7/29～9/30までガイド休止）									